

新政会

質問者

赤羽 誠治

牧野 直樹



持ち時間90分

信州Fパワー発電
事業を軌道に
乗せるために

◆カーボンニュートラル
への取り組み

問 塩尻市地球温暖化対策実行計画の取り組み状況はどうか。

答 これまで、保育園や小中学校における環境教育の実施やエコ展などの啓発活動の他、一般家庭向け省エネルギー設備として、蓄電池などの導入補助金を交付して地球温暖化対策の普及を図ってきた。

本年度から既存住宅への太陽光発電設備の設置補助金を復活して再生可能エネルギーの導入支援を図っている。

問 電気料金の高騰が続いている。市内産業を守

る取り組みとして太陽光発電システムの無償設置（PPA）導入の考えはどうか。

答 PPAとは、電力販売契約の略称で、太陽光発電設備の設置費用及びメンテナンス費用を掛けずに導入でき、電気代の節約ができる。長期に亘る電気の購入価格など契約内容等の比較検証を行い、ゼロカーボン事業推進のため検討する。

（生活環境課）

◆信州Fパワープロジェクトの状況

問 市長は、「信州Fパワープロジェクトのバイオマス発電所は、当初計画どおり稼働していないことを確認している」と述べているが、安定稼働のため、塩尻市は今後、どう取り組んでいくのか。

答 これまで県や事業者と連携してプロジェクトを推進してきた。このなかでもバイオマス発電所

の果たす役割は大きく、市としても、燃料材の買い取りに補助金を交付するなど支援をしてきた。今回のような発電燃料の調達が困難な状況に対しては憂慮しているが、改めて課題の検証を行い、県への働きかけや事業者との連携を深めながら、安定稼働に向けて、市としてできる取り組みに積極的に関わっていく。

（市長）

要望 信州Fパワープロジェクトは、長野県、塩尻市が誇る「地域ブランド」である。森を活かし、輝きを与えるためにも、



安定稼働が課題の木質バイオマス発電所

この発電事業は、是非成功させてほしい。本事業を軌道に乗せるために、市長の強いリーダーシップのもと更なる連携強化をして、課題解決に取り組みでいただきたい。

◆塩尻町交差点改良と市道の整備工事について

問 国道153号、塩尻町交差点改良工事の計画内容及び着工時期は、いつ頃になるのか。

答 まず、国道北側の町区火葬場線は、国道から64㍎の区間で幅員約6㍎に拡幅を実施。7月10日頃から工事に入り、10月末までに完了する見込み。次に、国道南側の町区上西条線については、国道から55㍎の区間で幅員約7㍎の拡幅工事を予定しているが、一部の事業用地が相続等の問題から未だ取得ができていない。工事は、令和6年度の予定であるが、用地交渉に時間が掛かるようであ

れば、既に取得済みの用地だけで、暫定の交差点改良工事も想定している。

問 暫定の改良工事を想定しているとしているが、工事着手を判断する時期はいつか。

答 昨年末に、この交差点で交通死亡事故が発生している事などから、地域にとって安全な交差点となるよう早急に改良工事を進めたいと考えている。従って、令和5年度末までには、暫定工事の着手判断をする。

（建設課）



早期改良が待たれる塩尻町交差点